

「神戸水道ビジョン」改定案に対する市民意見募集の結果

○募集期間 2026年1月28日（水）～2026年2月27日（金）

○ご意見 2通（7件）

参考意見1通（1件）

※要件不備の意見がありましたので、参考意見として取り扱っています。

○意見の概要と市の考え方

※ご意見は主旨を損なわない程度に要約しています。

	意見の概要	市の考え方
1	スマートメーターとはどのようなものか、注釈でその機能がわかる説明を追記して欲しい。	スマートメーターとは、水道メーターに、通信機能が内蔵されたもので、使用水量を自動で計測・記録し、データ送信することができます。（P.7に注釈を追加します。）
2	人口減少の将来を見据えるのなら、メーター検針員が全戸訪問しなくても済むシステム構築は検討しないのか。	人口減少社会を見据え、水道局では、自動で水量を計測、記録するとともに通信機能を有し、効率化・省力化が可能となるスマートメーターの導入について検討しています。
3	水道管の更新工事について必要性は理解しているが、自分の住む地域の安全性や今後の工事の見通しなど、具体的な進捗に関する広報を実施して欲しい。	水道管は複雑につながっているため、工事の進捗とお住いの地域の安全性を一概に説明することが難しく、広報の方法が課題となっています。 水道局としては水道管更新の進捗情報については、水道管の耐震化の状況や更新時期を迎えた管路の延長を、ホームページ等を通じて情報発信し、より市民の皆様へ伝える広報の方法について今後も検討したいと考えています。
4	人材確保と技術継承に力を入れていただきたい。水道局現業職員が業務と直接関係のないSPIを受験させられているという話を聞いたが、どのような意図で実施しているのか。無意味な試験はやめるべきではないか。また、職員の研修や自己啓発などの機会は設けているのか。職員が職場でどう成長していくかイメージできる組織づくりが大切だと思う。	水道局における採用などの試験は、市職員として求められる資質や、業務を行ううえで必要な能力・知識を総合的に判断する内容です。 また、老朽施設の改築や更新を進め、将来にわたって安全・安心な水を安定してお届けしていくため、人材の確保や技術の継承が大切だと考えています。 そのため、水道局の業務に必要な専門知識を習得する研修の実施や、資格取得に必要な費用の支援などに取り組んでいます。今後も、研修の実効性なども検証し、職員一人ひとりが成長を実感しながら、意欲をもって仕事に取り組める組織づくりに努めます。
5	市内の水道水から有機フッ素化合物PFASが検出されている。改定案はPFASについて言及されていないが、安心安全の水質確保に含まれているのか。明石市や阪神水道企業	水道局では、PFASを含む水道水質に関する具体的な計画として、毎年「水質検査計画」を策定しており、この策定の際には、阪神水道企業団等の他団体と連携して取り組んで

	<p>団との密接な連携や、保健所と共同で住民の健康診断実施などやるべきことはたくさんある。PFAS 問題の特別な対策計画の策定予定はあるのか。</p>	<p>います。</p> <p>なお、水道局の水道水の PFAS 濃度は現時点で水道法が定める水質管理目標値の 5 分の 1 以下と低く、2026 年 4 月から水道事業者に基準順守が義務化される水質基準値の 50ng/L を超えて検出されたことはありません。</p>
6	<p>水道修繕受付センターについて明記されているのは評価できる。悪徳業者対策として水道修繕受付センターのステッカーを全戸配布した取り組みは良かった。今後も 5 年毎など定期的に全戸配布してほしい。また、近隣自治体と連携してスケールメリットを確保したらよいのではないか。</p>	<p>水道修繕受付センターについては、これまでも「検針票裏面への広告掲載」や「広報紙 KOBE や婦人神戸」への広告掲載などにより周知を図ってきましたが、最も PR 効果があった取り組みとしては、ご指摘のステッカー全戸配布だと考えています。</p> <p>現在、新規水道利用者にはステッカーを配布していますが、数年以内には、再度全戸配布することを予定しています。</p> <p>なお、水道修繕受付センターの近隣自治体との連携に関しては、受託者が業務拡大に対応できるのかなどの問題があることから、将来の検討課題とさせていただきます。</p>
7	<p>パブリックコメントの結果公表の際、他の市民の方がどのような意見を出されているのか共有できることに意義があると思う。寄せられた意見は省略せず公表してほしい。</p>	<p>いただいたご意見の全文についても、別途、参考資料としてホームページに公開いたします。</p>

(参考意見)

参考意見の概要	
1	<p>改定案は具体性がなく、新しい要素もないと感じた。改定する意義も分かりにくい。ビジョンの改定に伴う経営戦略の改定は予定しているのか。</p>